

味噌づくりで地産地消を促進



ゆめ畑大野城店は9月28日、地産地消の意義や地元農産物に愛着を感じてもらう目的で「消費者交流会」を開催。地域住民を対象に「味噌づくり体験」を行いました。交流会は、ゆめ畑運営委員会・ゆめ畑出荷者協力のもと、消費者との交流を通して意見交換を図るものです。

今回は、ゆめ畑出荷者の井上ユキエさんを講師に迎え、地元農産物を使用した味噌づくり体験を実施。参加者は、会話を弾ませながら、丁寧に作業を進めていました。

体験後は、意見交換会を開き、ゆめ畑職員から店舗の取り組み内容を説明。参加者からは「地産地消の大切さが分かった」や「野菜が並ぶまでの過程を知ることが出来てよかった」などと好評でした。ゆめ畑大野城店の緒方一寿店長は「今後も、消費者や地域との繋がりを大切にしていきたい。」と話していました。

ゆめ畑大野城店 出張販売♪

ゆめ畑大野城店は9月19日、福岡市の電気ビル共創館で開催された「一丁目カドフェス」に参加し、地元野菜の出張販売を行いました。新鮮で採れたての野菜は大好評で、来場者は食と音楽を堪能していました。このフェスは、次代に繋ぐ音楽と、大切に育みたい九州の食文化を楽しむ目的で開催。九電グループやエフエム福岡などの地元企業や地域が協力し、コミュニケーションの場として企画されました。ゆめ畑大野城店の緒方一寿店長は「地元の新鮮な農産物をPRすることが出来た。今後も地産地消の推進に励んでいきたい。」と話していました。

長寿と健康を祝う



デイサービスセンターJA筑紫アネシスは、9月16日と17日の2日間、敬老の日を前に、利用者の長寿と健康を祝う「敬老会」を開きました。16日の敬老会には、利用者30人が参加。百寿、卒寿、米寿を迎えた6人がステージ前に整列し、表彰状と記念品を受け取りました。また、地域ボランティアによる「博多にわか」などの演芸が行われ、会場は参加者達の笑い声に包まれていました。高山忠治所長は「いつまでも元気で長生きしてくださいね」と呼び掛けていました。

「あまおう」定植に向けて苗を確認



JA筑紫いちご出荷組合は9月12日、いちご「あまおう」の定植を前に、苗の生育を確認する巡回と、定植後の管理や病害虫対策を確認する講習会を行いました。

今年の苗は、日照にも恵まれ、おおむね順調に生育。栽培管理の徹底により、炭そ病の発生も抑えられています。普通ポットの定植は、9月下旬頃から始まる予定です。

JAの担当職員は、「本田に定植後も、病害虫に注意しながら、しっかりと管理を行って欲しい」と話していました。いちご出荷組合は、生産者5人で活動しています。定期的に圃場巡回と講習会を行い、栽培技術の向上に努めています。生産者が育てる「あまおう」は、ゆめ畑4店舗で12月頃から販売されます。

女性部 楽しく活動♪♪



JA筑紫御笠ゆめカレッジは9月7日、御笠支店で「ポーセラーツ講座」を開催。女性部員とJA生活福祉課職員17名が参加しました。

ポーセラーツとは、陶器に特殊なシールを貼って、アレンジを楽しむもの。講師に二日市サロン V i anca(ヴィアンカ)の鶴嶋奈々さんを迎え、終始賑やかな様子で講座は進められました。参加者達は、それぞれがお気に入りのシールを手に取り、会話を弾ませながら思い思いに作品づくりを楽しんでいました。

10年後を考える「元気塾」開講

JA筑紫は、職員の意識向上を目指す「第3期 元気塾」を開講。公募や選抜により人員を募り、10年後に中核となる職員10名を対象に、約3ヶ月間の研修を行います。塾では、10年後もJA筑紫が元気であるために、将来の組織ビジョンを考えます。職員が組織全体の活性化を目指し、強い組織の構築に繋げる目的です。

取り組み内容は、外部講師を招き、「組織論基本」や「組織変革プランの策定」などを学びます。その後、成果発表として役員へのプレゼンテーションを予定しています。

開講式では、白水清博組合長より、任命書を交付。受け取った職員は、次世代リーダーとしての決意を新たにしました。白水組合長は「10年後も元気で明るいJAを目指すため、人間性と自身のスキルをしっかり磨いて欲しい。」と激励しました。

営農指導の強化を目指す



JA筑紫は9月2日、福岡県農林業総合試験場で留学を受け入れる入場式が行われ、JAの営農職員2人が入場しました。11月までの3か月間研修を行い、野菜に関する知識と栽培技術の向上を図ります。

JAは営農相談に対する指導力の強化と人材育成を目的に、2012年度から5年連続で福岡県農林業総合試験場の野菜部でJA職員の留学研修を行っています。ゆめ畑太宰府店の西岡工さんは「3か月間しっかりと野菜の栽培知識を学び、現場で活かしていきたい。」と意気込みを話しました。萩尾博経済担当常務は「短い期間ですが、生産者に役立てるよう栽培技術を習得して欲しい。」と激励しました。